

トトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、 42 号地～44 号地、46 号地の植生と管理方針

川越 みなみ・横山 伸夫
(トトロのふるさと基金 調査部会)

要旨

トトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地での調査の結果を示すとともに、それらを踏まえた管理方針について提言を行った。34 号地はコナラが優占した。ホタルの生息地を維持する。35 号地と 36 号地はコナラとシデ類を主体とする落葉広葉樹林を目指す。38 号地はコナラやクヌギ等の落葉広葉樹の多い明るい雑木林を目指す。39 号地はコナラやミズキなどの落葉広葉樹を主体とする森を目指す。40 号地、43 号地、46 号地はコナラやクヌギを主体とした落葉広葉樹の森を目指す。42 号地はアマナやギンランが出現した。希少植物が林床に咲く明るい雑木林を目指す。44 号地はウワミズザクラやムクノキを主体とした落葉広葉樹の森を目指す。

キーワード: 里山 ; 多様性 ; 雑木林

はじめに

里山林、あるいは雑木林などと呼ばれる里地地域の二次林は、かつて農用林、薪炭林などとして利用され、人為的な植生管理によって維持されてきた。また、十数年に一度の定期的な伐採、毎年の下草刈りや落ち葉掻きなどの集約的な管理がなされることで、様々な遷移段階の植生が維持され、地域生態系全体で生物多様性が保全されていた (辻・星野 1992 ; 大久保ほか 2003)。しかし、1950 年代に始まる高度経済成長期における燃料革命や化学肥料の普及など、生活様式の変貌に伴って、雑木林の存在価値は低下し、植生管理は放棄され、植生遷移が進行した。定期的な植生管理が放棄されたことにより、生育を抑制されていたアズマネザサや低木類が生長し、低木層において優占する結果、地表付近は暗くなり、光をめぐる競争で不利な立場に置かれた草本植物は消失すると考えられている (加藤・谷地 2003 ; 山崎ほか 2000)。

里地地域における多様な植物相の保全を図るためには、地形や土壌といった地域の土地自然を把握し、多様な土地自然条件がもたらす植生構造の違いを明らかにすると同時に、適正な植生管理によって成立する様々な遷移段階における植生構造を把握することが重要である (大久保ほか 2003)。

公益財団法人トトロのふるさと基金では、狭山丘陵の里山景観の保全を目的として、土地の買い取りによる里山面積の確保と管理を行っている。トラスト地として取得時には、管理放棄されて 30 年程度経過した状態であるものが多い。これまで取得されてきたトラスト地については、深

澤 (2010) や川越 (2011、2012、2013、2014、2015、2017) により、全体を単一の方法で管理するよりも、さまざまな管理方法の場所が入り混じっている方が、全体としての生物の多様性は高くなるとの観点から、トラスト地の管理方針の提案が行われてきた。

本報告では、2017 年～2018 年に新たに取得されたトトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地の植生の現状の調査結果を記述し、今後の適切な管理方針について提言を行う。

調査地概要

調査地は、トトロの森 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地である。

34 号地は 2015 年 12 月 8 日に取得された。面積は 1,178.31 m²である。葛籠入の森の一部であり、早稲田大学 A 地区湿地に隣接している。近隣にはトトロの森 20,21,26,31,33,41 号地がある。2016 年 3 月 10 日付で所沢市の「三ヶ島二丁目里山保全地域」の指定も受けている。早稲田大学所沢キャンパスと芸術総合高校の間に位置する。(図 1)。所沢市では数少ないホテルの生息地と接している。また、南側斜面上部は墓地開発計画地となっている。

35・36 号地は 2016 年 1 月 26 日に取得された。面積は 35 号地が 2,312.08 m²、36 号地が 1,223.21 m²である。2 つのトラスト地はともに猪入の森の一部であり、近隣にはトトロの森 6 号地、23 号地、25 号地がある (図 2)。これらのトラスト地の面積の合計は 1ha を超え、大きな緑地帯の保全を担保することが出来た。

38 号地は 2016 年 6 月 6 日に取得された。面積は 2,193.85 m²である。トトロの森 29 号地と隣接する (図 3)。

39 号地は 2016 年 8 月 29 日に取得された。面積は 1,435.49 m²である。所沢市西部浄水場のタンクと道を挟んで南側にある (図 4)。

40 号地は 2016 年 9 月 7 日に取得された。面積は 3,157.59 m²である。東京都大和市多摩湖自転車道に面している。(図 5)。

42 号地は 2017 年 10 月 23 日に取得された。面積は 348.06 m²である。砂川の自然護岸の河畔林である (図 6、図 7)。

43 号地は 2017 年 10 月 23 日に取得された。面積は 1,533.37 m²である。所沢西高校の東側に位置し、砂川の調整池に隣接している (図 6、図 8)。

44 号地は 2017 年 10 月 23 日に取得された。面積は 383.8 m²である。東川の上流部に位置し、北野総合運動場に近い平地林である (図 6、図 9)。

46 号地は 2017 年 12 月 26 日に取得された。面積は 1,302.35 m²である。所沢市と入間市との市境に位置し、周囲には畑の広がる里山である (図 6、図 10)。

調査方法

1. 環境条件の評価

各調査地の環境条件を評価するために、斜度、土壌 pH、土壌硬度の測定を行った (表 1)。土壌硬度の測定には、山中式土壌硬度計を用いた。34 号地は、全体でランダムに 6 ヶ所、35 号地、36 号地、38 号地～40 号地は全体でランダムに 15 ヶ所、42 号地は全体でランダムに 10 ヶ所、43

号地、44 号地及び 46 号地は全体でランダムに 9 ヶ所測定を行った。

調査は、34 号地は 2016 年 10 月 16 日、35 号地は 2017 年 4 月 13 日、36 号地は 2016 年 5 月 13 日、38 号地は 2017 年 5 月 9 日、39 号地は 2017 年 4 月 21 日、40 号地は 2017 年 2 月 5 日、42 号地は 2018 年 6 月 2 日、43 号地は 2018 年 5 月 13 日、44 号地は 2018 年 5 月 26 日、46 号地は 2018 年 5 月 18 日に行った。

2. 上層木

地上から生えている胸高直径 1cm 以上の木本植物について、種名および幹周 (cm) を記録した。

34 号地、36 号地、39 号地、42 号地、44 号地、46 号地は調査地全体で調査を行った。35 号地、38 号地、40 号地、43 号地は調査地内に 10m×10m のコドラートを 5 ヶ所設置し、調査を行った (図 11、図 12、図 13)。

得られたデータから、樹種ごとに胸高直径 (DBH) (cm) の平均値と、胸高断面積 (BA) 合計 ($\text{cm}^2/100 \text{ m}^2$) を算出し、上層木の現存量の指標とした。

胸高断面積合計とは、各立木の胸高断面積を合計したもので、森林の大きさを調べる指数である。以下の式で求められる。

$$\text{胸高断面積合計 (BA)} = (\text{胸高直径}/2) \times (\text{胸高直径}/2) \times 3.14$$

調査は、34 号地は 2016 年 10 月 16 日、35 号地は 2016 年 12 月 9 日、36 号地は 2016 年 10 月 25 日、38 号地は 2017 年 4 月 26 日と 5 月 9 日、39 号地は 2016 年 11 月 20 日、40 号地は 2017 年 2 月 5 日、42 号地は 2018 年 6 月 2 日、43 号地は 2018 年 5 月 13 日、44 号地は 2018 年 5 月 26 日、46 号地は 2018 年 5 月 18 日に行った (表 1)。

3. 下層植生

1m×1m のプロットをランダムに設置して調査を行った。34 号地は調査地全体で 20 ヶ所、35 号地は調査地全体で 25 ヶ所、36 号地は調査地全体で 25 ヶ所、39 号地は調査地全体で 20 ヶ所、42 号地は調査地全体で 5 ヶ所、43 号地は調査地全体で 10 ヶ所、46 号地は調査地全体で 15 ヶ所設置した。38 号地、40 号地、43 号地は上層木調査用の 10m×10m の各コドラート内に、5 ヶ所ずつ計 25 ヶ所設置した。

設置したプロット中の草本植物および胸高直径 1cm 未満、高さ 1m 未満の木本植物について、種名、被度 (%) および高さ (cm) を記録した。プロットあたりの出現頻度 (%) から、常在度を算出した。常在度は、I : 20% 未満、II : 20-40%、III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100% を示す。

調査は、34 号地は 2017 年 4 月 23 日、35 号地は 2017 年 4 月 13 日、36 号地は 2016 年 5 月 13 日、38 号地は 2017 年 5 月 9 日、39 号地は 2017 年 4 月 21 日、40 号地は 5 月 16 日、42 号地は 2018 年 6 月 2 日、43 号地は 2018 年 5 月 13 日、44 号地は 2018 年 5 月 26 日、46 号地は 2018 年 5 月 19 日に行った (表 1)。

植生の現状と管理方針

1. 34 号地

1-1. 植生の現状

上層木としては、30 種を記録した (表 2)。コナラは調査地 100 m²あたり 3560.1cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、コナラに次いでシラカシが調査地 100 m²あたり 549.5cm²、クヌギが 306.3cm²、シロダモが 207.1cm²、アオハダが 108.8cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 14.7 本出現した。

下層植生としては、26 種を記録した (表 3)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 151.0%、次いでキヅタが 8.0%で出現し、優占した。ジャノヒゲは常在度Vで出現した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているシュンランとサイハイランが出現した (埼玉県環境部自然環境課 2011)。

1-2. 管理方針

○ホタルの生息地を維持する

ホタルの貴重な生息地であることから、出来る限り環境を現状維持する。倒木や枯れ枝の整理を行う。シラカシ等の常緑樹やアズマネザサは伐採をしないで残す。シュンランやサイハイランは保護育成し、盗掘などの無いように努める。

2. 35 号地

2-1. 植生の現状

上層木としては、25 種を記録した (表 4)。コナラは調査地 100 m²あたり 6824.4cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、コナラに次いでシデ類が調査地 100 m²あたり 1466.3cm²、シラカシが 269.9cm²、エゴノキが 173.7cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 21.2 本出現した。

下層植生としては、32 種を記録した (表 5)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 20.72%、あいでキヅタが 16.32%で出現し、優占した。キヅタ、コナラ、ジャノヒゲは常在度Vで出現した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているシュンランとサイハイランが出現した。

3. 36 号地

3-1. 植生の現状

上層木としては、16 種を記録した (表 6)。コナラは調査地 100 m²あたり 645.6cm²の胸高断面積合計を占め、優占した。胸高断面積合計で見ると、コナラに次いでニセアカシアが調査地 100 m²あたり 635.7cm²、シラカシが 428.6cm²、アラカシが 66.6cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 10.7 本出現した。

下層植生としては、17 種を記録した (表 7)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 8.08%、次いでコナラが 4.84%で出現し、優占した。コナラ、ジャノヒゲは常在度Vで出現した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているサイハイランが出現した

4. 35 号地と 36 号地の管理方針

○コナラとシデ類を主体とする落葉広葉樹林

35 号地と 36 号地は 23 号地と 6 号地に隣接している。調査結果から周辺のトラスト地と同様の管理をするのが望ましいと考える。コナラとシデ類を主体とする落葉広葉樹の森を目指して管理

を行う。外来種のニセアカシア及び、シラカシやシュロ等の常緑樹は伐採を行う。春先に開花するウグイスカグラやヤマツツジ等は保全する。また、定期的な下草刈りを実施する。シュンランやサイハイラン等の希少植物は保護育成し、盗掘などの無いように努める。

5. 38 号地

5-1. 植生の現状

上層木としては、23 種を記録した (表 8)。コナラは調査地 100 m²あたり 2951.3.0cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。胸高断面面積合計で見ると、コナラに次いでクヌギが調査地 100 m²あたり 429.3cm²、シラカシが 361.1cm²、ヤマザクラが 327.4cm²、ヒノキが 220.1cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 16.8 本出現した。

下層植生としては、14 種を記録した (表 9)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 16.76%、次いでアオキが 5.2%で出現し、優占した。ジャノヒゲは常在度Vで出現した。

5-2. 管理方針

○広葉樹の多い明るい雑木林

コナラやクヌギ等の、落葉広葉樹が多くて明るい雑木林を目指す。常緑樹のシラカシ、アオキ、シュロ、アズマネザサ、チャノキは伐採する。ヤマザクラ、ウワミズザクラ、フジなどの林を彩る木は伐採せず残す。定期的な下草刈りを実施する。

6. 39 号地

6-1. 植生の現状

上層木としては、33 種を記録した (表 10)。コナラは調査地 100 m²あたり 2951.3cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。胸高断面面積合計で見ると、コナラに次いでミズキが調査地 100 m²あたり 1023.9cm²、シラカシが 504.0cm²、ムクノキが 313.2cm²、ヤマザクラが 293.5cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 10.1 本出現した。

下層植生としては、52 種を記録した (表 11)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 8.75%、次いでノミノツヅリが 7.7%で出現し、優占した。ジャノヒゲは常在度IVで一番多く出現した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているシュンランとサイハイランが出現した。

入口付近の裸地にはゴミが積み上げられていた。

6-2. 管理方針

○コナラとミズキなどの落葉広葉樹を主体とする森

現状で大半を占めている、コナラとミズキその他を主体とする明るい落葉広葉樹の森を目指す。花の時期に目を楽しませてくれるヤマザクラ、ウワミズザクラ、マユミなどを保全し外来種のニセアカシア及び、チャノキやシラカシなどの常緑樹は伐採する。サイハイラン、シュンラン等の希少植物は保全し盗掘防止の対策を考える。ゴミが積み上げられた入口付近の裸地にはコナラやクヌギなどの広葉樹を植栽する。

7. 40 号地

7-1. 植生の現状

上層木としては、30 種を記録した (表 12)。コナラは調査地 100 m²あたり 1591.3cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。胸高断面面積合計で見ると、コナラに次いでクヌギが調査地 100 m²あたり 428.8cm²、イヌザクラが 113.0cm²、ウワミズザクラが 108.5cm²出現した。本数はヒサカキが最も多く、調査地 100 m²あたり 12.4 本出現した。

下層植生としては、34 種を記録した (表 13)。調査地 1m²あたりアズマネザサが被度 22.6%と圧倒的な被度で出現し、優占した。アズマネザサが常在度 V で占領的に出現した。埼玉県レッドデータブックの準絶滅危惧に指定されているサイハイランとササバギンランが出現した。

7-2. 管理方針

○コナラ、クヌギを主体とした落葉広葉樹林の森

コナラやクヌギを主体とした落葉広葉樹林の森を目指す。被度が最も高かったアズマネザサを優先的に伐採する。次いで常緑樹のアオキ、ヒサカキ、ヤツデ等を伐採する。大径木のイヌザクラとウワミズザクラ、ヤマザクラは保全し、開花時期に目を楽しませてくれるムラサキシキブ、ウグイスカグラ等の中高木も残すように努める。希少植物のサイハイランとササバギンランは保護育成し、盗掘などの無いように努める。

8. 42 号地

8-1. 植生の現状

上層木としては、16 種を記録した (表 14)。エノキは調査地 100 m²あたり 1433.1cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。胸高断面面積合計で見ると、エノキに次いでイヌシデが調査地 100 m²あたり 1248.5cm²、イヌザクラが 716.3cm²、コナラが 448.3cm²出現した。本数はカマツカが最も多く、調査地 100 m²あたり 4.0 本出現した。

下層植生としては、31 種を記録した (表 15)。調査地 1m²あたりオオバジャノヒゲが被度 22.00% 次いでナガバジャノヒゲが 10.00% で出現し、優占した。アケビが常在度 V で出現した。調査日の 6 月 2 日には観察されなかったが、埼玉県レッドデータブックの絶滅危惧 II 類に指定されているギンラン、準絶滅危惧に指定されているアマナやキツネノカミソリが出現した。

8-2. 管理方針

○希少植物が林床に咲く明るい雑木林

砂川の下流部にある 14 号地、27 号地と同様に希少植物のギンラン、アマナ、キツネノカミソリ等が生育している。これらの植物を保護育成し、外来種の駆除及び下層植生の刈り払いを行う。落ち葉の採取は貴重な林床植物の生育に支障のない範囲で行う。

9. 43 号地

9-1. 植生の現状

上層木としては、32 種を記録した (表 16)。コナラは調査地 100 m²あたり 2521.8cm²の胸高断

面積合計を占め、優占した。胸高断面面積合計で見ると、コナラに次いでクヌギが調査地 100 m²あたり 644.0cm²出現した。本数はシラカシが最も多く、調査地 100 m²あたり 7.0 本出現した。

下層植生としては、41 種を記録した (表 17)。調査地 1m²あたりアケビが被度 6.12%、次いでチャノキが 4.88%で出現した。コナラ、ジャノヒゲ、チャノキが常在度Ⅲで出現した。埼玉県レッドデータブックの絶滅危惧Ⅱ類に指定されているギンラン、準絶滅危惧に指定されているササバギンランが出現した。

9-2. 管理方針

○コナラ、クヌギを主体とした落葉広葉樹の森

コナラ、クヌギを主体とした落葉広葉樹の森を目指して管理を行う。シラカシ、アオキ、ヤツデ等の常緑樹は除伐し、開花の時期に目を楽しませてくれるヤマザクラやヤマツツジ、ウグイスカグラ等は残す。下層植生うち、希少植物のギンラン、ササバギンランは保護育成し、盗掘などの無いように努める。

10. 44 号地

10-1. 植生の現状

上層木としては、13 種を記録した (表 18)。ムクノキは調査地 100 m²あたり 1536.5cm²、次いでウワミズザクラが調査地 100 m²あたり 1322.0cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。本数はヒサカキが最も多く、調査地 100 m²あたり 8.3 本出現した。

下層植生としては、16 種を記録した (表 19)。調査地 1m²あたりジャノヒゲが被度 11.90%で出現した。ウワミズザクラとジャノヒゲが常在度Ⅴで出現した。

10-2. 管理方針

○ウワミズザクラ、ムクノキを主体とした落葉広葉樹の森

開花時期は遠くからでもそれと分かる白い花をたくさん咲かせるウワミズザクラとムクノキを主体とした落葉広葉樹の森を目指して管理を行う。シラカシ、アオキ、アズマネザサ等の常緑樹は除伐する。サワラとスギの針葉樹は周囲の落葉広葉樹の成育を阻害しているようであれば、除伐する。

11. 46 号地

11-1. 植生の現状

上層木としては、27 種を記録した (表 20)。コナラは調査地 100 m²あたり 4330.9cm²の胸高断面面積合計を占め、優占した。本数はシロダモが最も多く、調査地 100 m²あたり 4.0 本出現した。

下層植生としては、23 種を記録した (表 21)。調査地 1m²あたりアズマネザサが被度 14.00%、次いでジャノヒゲが 13.80%で出現した。アズマネザサ、ジャノヒゲ、ツタが常在度Ⅴで出現した。

11-2. 管理方針

○コナラ、クヌギを主体とした落葉広葉樹の森

コナラ、クヌギを主体とした落葉広葉樹の森を目指して管理を行う。ヤマザクラ、イヌザクラ等の開花期に目を楽しませてくれる樹は残す。シラカシ、シュロ、アオキ等の常緑樹は除伐する。被度が最も高かったアズマネザサを優先的に伐採する。ツタが落葉広葉樹の成育を阻害しているようであれば、除伐する。

引用文献

- 深澤遊 (2010) トラスト地とその周辺の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 7.2-28
- Iida, S. and Nakashizuka, T.(1995)Forest fragmentation and its effect on species diversity in sub-urban coppice forests in Japan. *Forest Ecology and Management* 73.197-210.
- 加藤和弘・谷地麻衣子 (2003) 里山林の植生管理と植物の種多様性および土壌の化学性の関係. *ランドスケープ研究日本造園学会誌*. 66(5).521-524.
- 川越みなみ (2011) トトロの森 11 号地の植生. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 8:2-5
- 川越みなみ (2012) トトロの森 12 号地・13 号地・14 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 9:2-10
- 川越みなみ (2013) トトロの森 15 号地・16 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 10:3-9
- 川越みなみ (2014) トトロの森 17 号地・18 号地・19 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 11:2-10
- 川越みなみ (2015) トトロの森 20 号地・21 号地・22 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 12:2-10
- 川越みなみ (2017) トトロの森 23 号地～33 号地、37 号地の植生と管理方針. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 13:2-28
- 前河正昭・中越信和 (1997) : 海岸砂地においてニセアカシア林の分布拡大がもたらす成帯構造と種多様性への影響. *日本生態学会* 47;131-143.
- 大久保悟・神山麻子・北川淑子・武内和彦 (2003) 多摩丘陵におけるコナラ二次林および林縁の草本層種構成と微地形との対応. *ランドスケープ研究日本造園学会誌*. 66(5).537-542.
- 埼玉県 (2011) 埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編.
- トトロのふるさと基金 (2017) トラスト取得地. 公益財団法人 トトロのふるさと基金.
http://www.totoro.or.jp/intro/national_trust/index.html
- 辻誠治・星野義延 (1992) コナラ二次林の林床管理の変化が種組成と土壌に及ぼす影響. *日本生態学会誌* 42:125-136
- 山崎寛・青木京子・服部保・武田義明 (2000) 里山の植生管理による種多様性の増加: ランドスケープ研究, 481-484

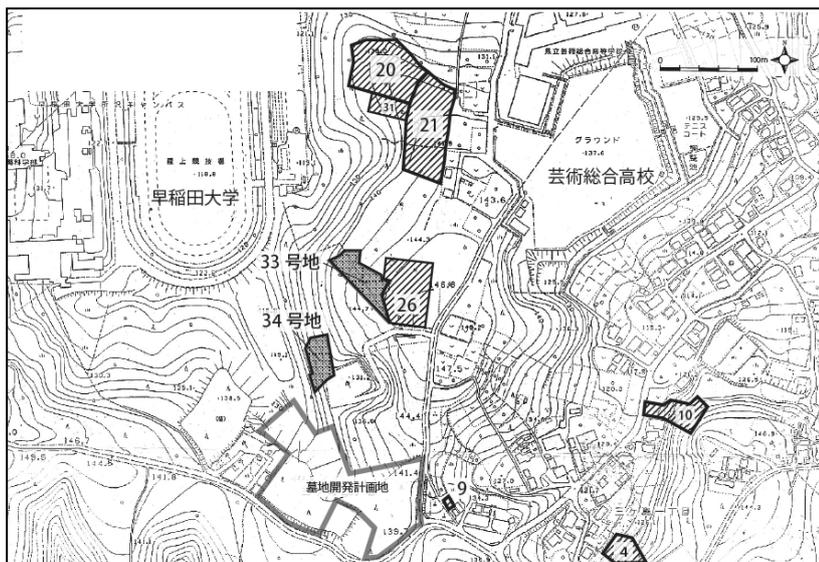


図 1 トトロの森 34 号地の位置図

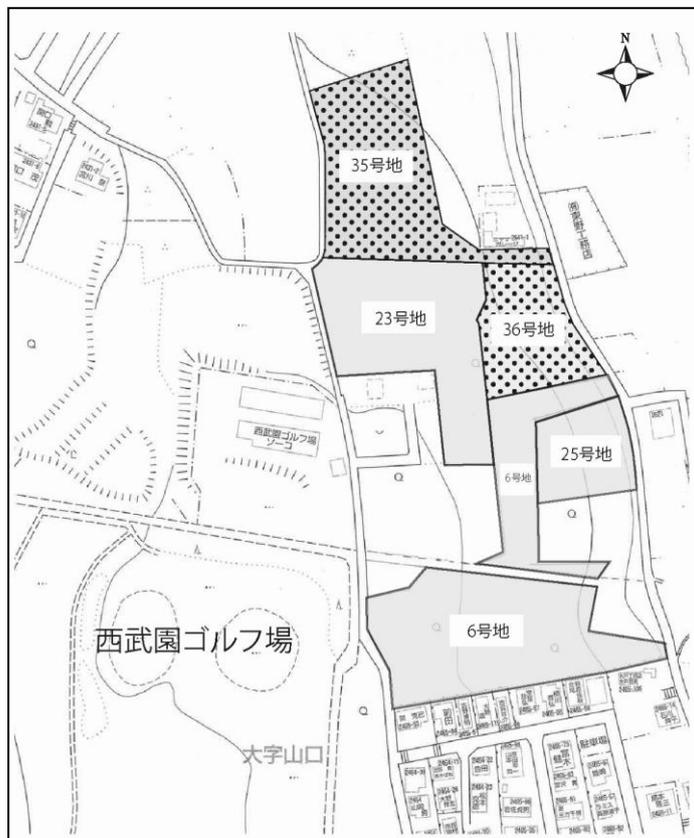


図 2 トトロの森 35 号地、36 号地の位置図

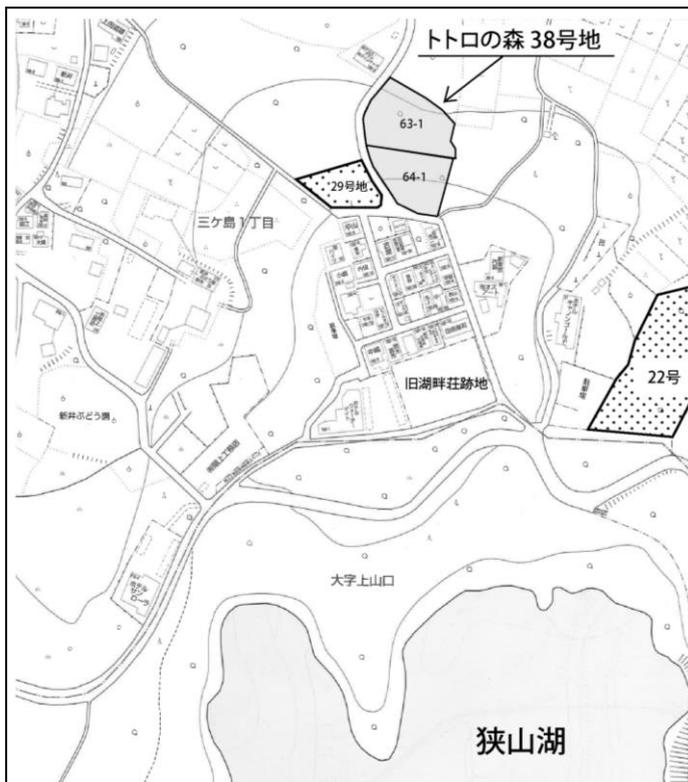


図3 トトロの森 38号地の位置図



図4 トトロの森 39号地の位置図

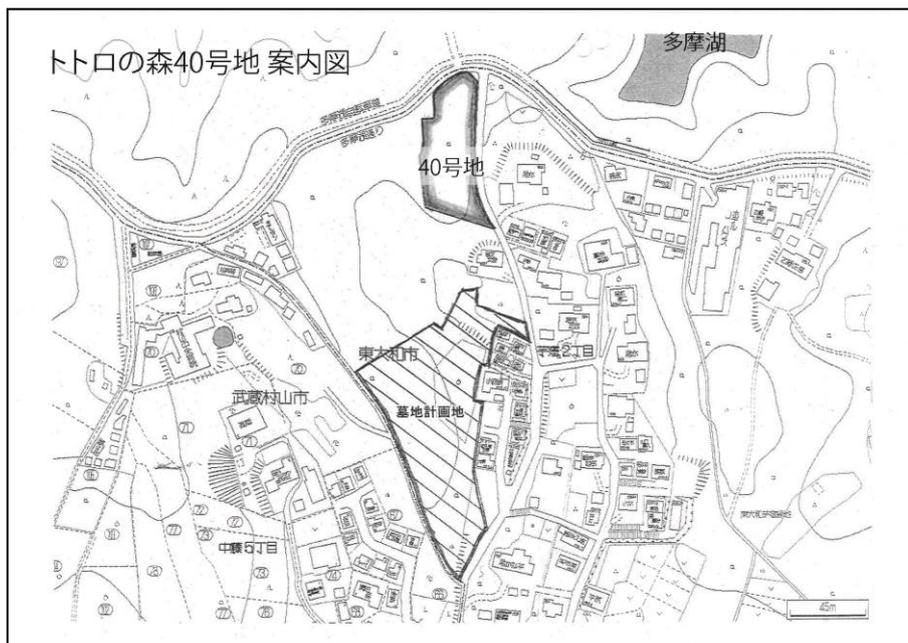


図 5 トトロの森 40 号地の位置図

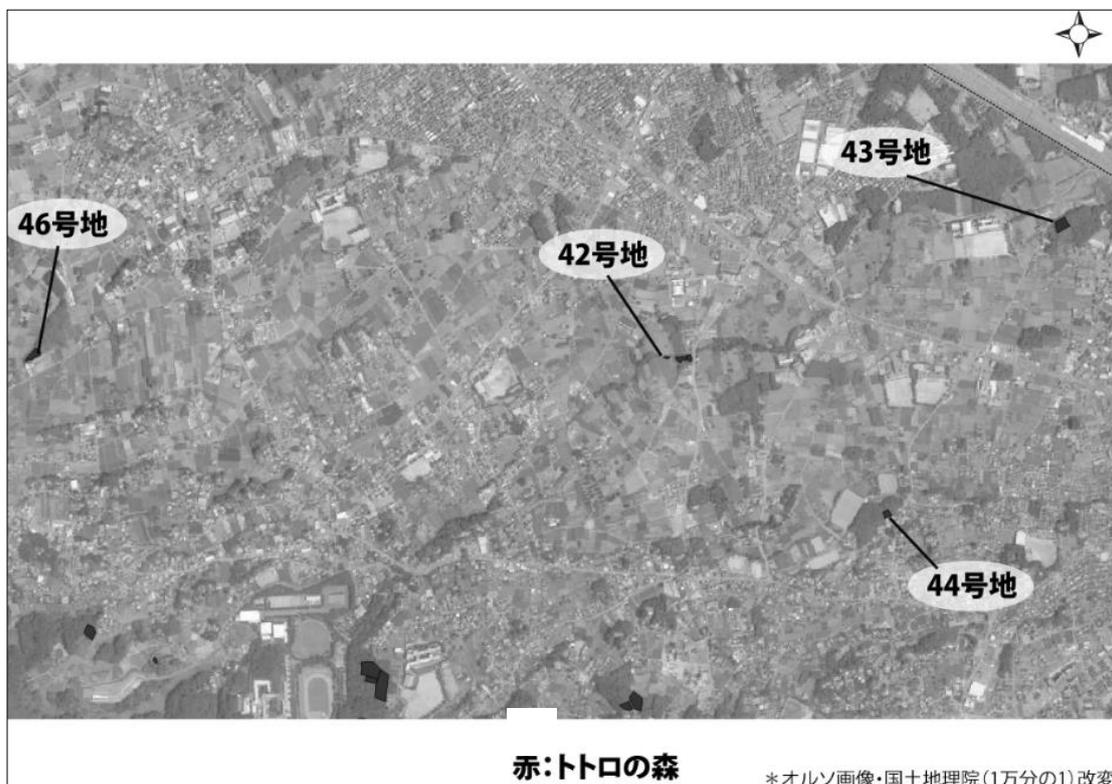


図 6 トトロの森 42 号地、43 号地、44 号地、46 号地の位置図

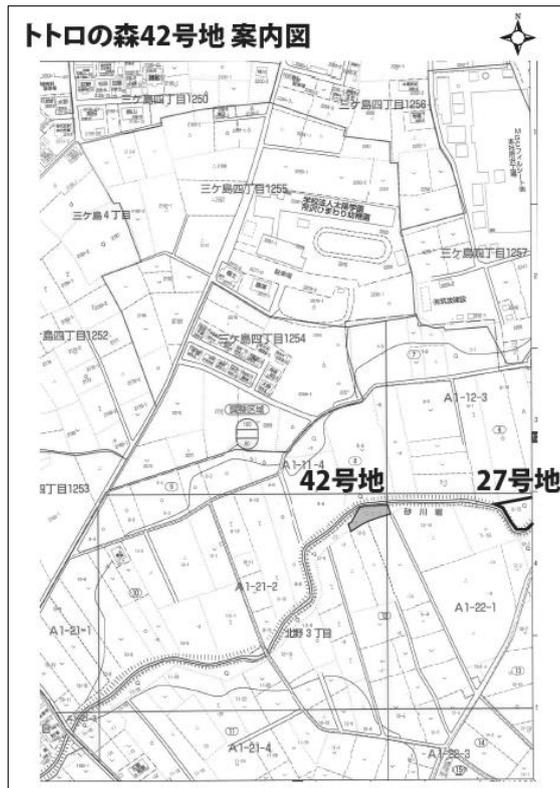


図 7 トトロの森 42 号地の位置図



図 8 トトロの森 43 号地の位置図



図 9 トトロの森 44 号地の位置図

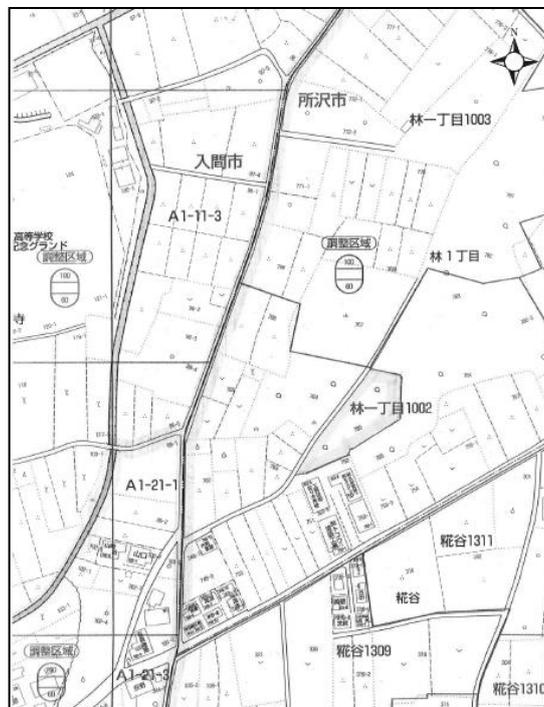


図 10 トトロの森 46 号地の位置図

表 1 34 号地～36 号地、38 号地～40 号地、42 号地～44 号地、46 号地の斜度、土壌 pH、土壌硬度。数値は平均値で示す

調査地	面積 (㎡)	土壌pH	土壌硬度 (mm)	斜度	調査日		
					環境条件	上層木	下層植生
34号地	1,178	6.4	7.3	17.2	2016年10月16日	2016年10月16日	2017年4月23日
35号地	2,312	6.3	6.7	9.1	2017年4月13日	2016年12月9日	2017年4月13日
36号地	1,223	4.7	3.6	17.2	2016年5月13日	2016年10月25日	2016年5月13日
38号地	2,194	6.1	3.4	10.3	2017年5月9日	2017年4月26日 2017年5月9日	2017年5月9日
39号地	1,435	6.6	8.5	17.8	2017年4月21日	2016年11月20日	2017年4月21日
40号地	3,158	6.8	8.4	6.5	2017年2月5日	2017年2月5日	2017年5月16日
42号地	351	5.7	11.6	9.4	2018年6月2日	2018年6月2日	2018年6月2日
43号地	1,516	6.3	3.5	3.0	2018年5月13日	2018年5月13日	2018年5月13日
44号地	386	6.9	4.0	1.1	2018年5月26日	2018年5月26日	2018年5月26日
46号地	1,312	6.2	5.1	2.6	2018年5月18日	2018年5月18日	2018年5月19日

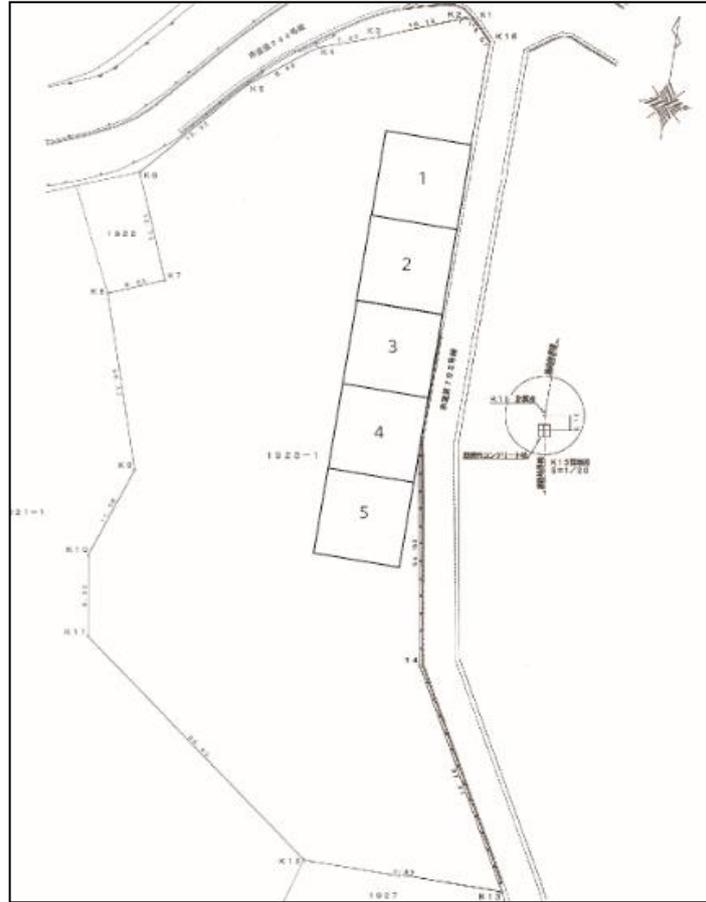


図 13 トトロの森 40 号地の上層木調査コードラート位置図

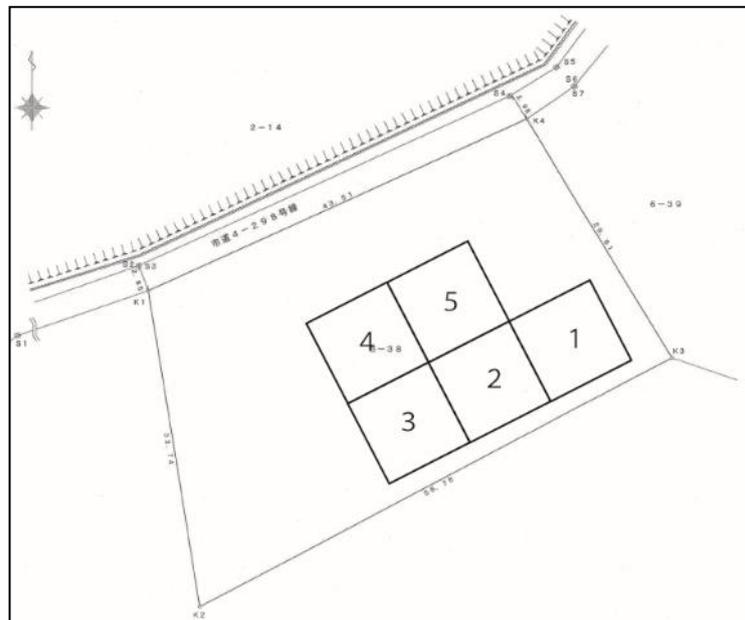


図 14 トトロの森 43 号地の上層木調査コードラート位置図

34 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 2. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	2.4	6.3	37.2
アオハダ	1.4	9.7	108.8
アラカシ	0.1	1.0	0.1
イヌザクラ	0.3	13.7	41.9
イヌツゲ	0.3	1.7	0.5
ウグイスカグラ	2.0	1.6	7.1
ウワミズザクラ	0.3	11.1	36.4
エゴノキ	0.3	8.9	22.8
クヌギ	0.3	33.1	306.3
コナラ	2.7	43.9	3560.1
サカキ	0.2	5.7	6.3
シデ	0.6	11.9	74.9
シラカシ	14.7	6.1	549.5
シロダモ	1.6	9.0	207.1
チャノキ	0.1	1.3	0.1
トウネズミモチ	0.2	0.4	0.5
ナンテン	0.1	1.0	0.1
ヒイラギ	0.3	1.2	0.4
ヒサカキ	2.0	7.8	59.8
ヒノキ	0.2	5.6	4.1
マユミ	0.1	1.0	0.1
マルバアオダモ	0.1	3.5	0.8
ミズキ	0.2	13.2	24.0
ムクノキ	0.1	3.2	0.7
ムラサキシキブ	0.1	3.5	0.8
モチノキ	0.2	1.3	0.2
ヤツデ	0.1	2.5	0.4
ヤブツバキ	0.1	2.2	0.3
ヤマザクラ	0.1	9.6	6.1
ヤマツツジ	0.2	1.9	0.3
種数	30		

表 3. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅱ	2.6	19.8
アオハダ	I	0.1	10.0
アズマネザサ	I	0.3	29.5
アマチャヅル	I	0.1	20.0
ウグイスカグラ	I	0.3	44.0
オオバジャノヒゲ	Ⅱ	3.5	19.3
オトコヨウゾメ	I	1.8	25.0
カキドオシ	I	0.1	20.0
キツタ	Ⅳ	8.0	10.2
クロモジ	I	1.0	80.0
コナラ	Ⅲ	1.7	12.8
サイハイラン	Ⅱ	0.8	16.1
シデ	I	0.1	15.0
ジャノヒゲ	V	151.0	15.9
シュンラン	I	0.5	20.0
シラカシ	Ⅱ	0.9	37.0
シロダモ	I	0.4	18.5
スイカズラ	I	0.1	20.0
セントウソウ	I	1.8	13.0
チャノキ	I	0.4	20.0
ツルグミ	I	0.5	60.0
テイカカズラ	Ⅳ	3.5	13.4
ネズミモチ	I	0.3	20.0
ミツバアケビ	I	0.1	8.0
ヤブコウジ	I	0.3	13.0
ヤブラン	Ⅲ	3.2	16.8
種数	26		

* 常在度は、I : 20%未満、Ⅱ : 20-40%、Ⅲ : 40-60%、
Ⅳ : 60-80%、V : 80-100%を示す。

35 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 4. 上層木

種名	DBH (cm)	本数	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	2.6	2.8	12.1
アオハダ	6.9	1.6	64.4
イヌザクラ	8.0	0.6	30.5
イヌツゲ	2.9	2.4	16.0
ウグイスカグラ	7.3	0.2	2.9
ウメモドキ	1.3	0.2	0.3
ウワミズザクラ	4.0	1.0	13.6
エゴノキ	11.4	1.6	173.7
カマツカ	4.1	0.2	1.4
ケヤキ	4.6	0.4	5.4
コナラ	39.3	7.2	6824.4
シデ	19.8	3.2	1466.3
シラカシ	3.6	21.2	269.9
タブノキ	3.6	0.6	6.6
ツルグミ	1.6	0.2	0.4
トウネズミモチ	1.3	0.2	0.3
ネズミモチ	3.2	0.2	1.6
ヒノキ	2.2	0.2	0.8
ミズキ	6.7	0.2	7.0
ムクノキ	2.1	0.6	2.3
ムラサキシキブ	3.4	0.8	6.3
モチノキ	5.2	0.6	13.7
ヤマザクラ	2.4	0.6	2.9
ヤマツツジ	2.9	6.6	35.2
リョウブ	1.9	0.2	0.6
種数		25	

表 5. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	I	2.84	28.00
アケビ	II	2.24	7.57
アズマネザサ	III	2.72	35.18
アラカシ	I	0.04	30.00
イヌツゲ	I	1.80	70.00
ウグイスカグラ	I	7.44	84.00
ウワミズザクラ	I	3.20	25.20
オトコヨウゾメ	I	0.40	6.00
カンスゲ	I	0.92	16.50
キツタ	V	16.32	8.58
コナラ	V	5.88	12.46
サイハイラン	I	0.16	9.33
サネカズラ	I	2.88	17.50
ジャノヒゲ	V	20.72	12.88
シュラン	III	3.12	16.27
シラカシ	I	3.68	49.00
スイカズラ	II	2.80	16.71
タラノキ	I	0.04	12.00
チャノキ	IV	14.32	28.13
ツゲ	I	0.20	40.00
トウネズミモチ	I	0.20	15.00
ナンテン	I	2.00	30.00
ノイバラ	I	0.04	50.00
ハウチャクソウ	I	2.80	9.00
マサキ	I	0.04	25.00
マユミ	I	0.12	22.67
ミツバアケビ	I	1.60	12.50
ヤブコウジ	I	0.24	14.67
ヤブラン	III	6.60	10.86
ヤマウルシ	I	0.04	14.00
ヤマツツジ	I	4.04	65.00
リョウブ	I	0.04	27.00
種数		32	

* 常在度は、I : 20%未満、II : 20-40%、III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100%を示す。

36 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 6. 上層木

種名	DBH(cm)	本数	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	1.9	0.3	0.8
アオハダ	6.1	0.1	2.3
アラカシ	6.8	1.7	66.6
ウワミズザクラ	10.4	0.3	27.3
エゴノキ	9.4	0.2	17.7
クヌギ	31.8	0.1	65.1
ケヤキ	4.0	0.2	2.1
コナラ	28.8	1.0	645.6
シデ	15.4	0.3	56.6
シュロ	7.0	0.1	3.2
シラカシ	6.8	10.7	428.6
テイカカズラ	1.3	0.1	0.1
トウネズミモチ	5.8	0.4	10.1
ニセアカシア	24.9	1.4	635.7
ネズミモチ	1.3	0.1	0.1
ヤマウルシ	4.5	0.1	1.3
種数		16	

表 7. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅱ	0.76	16.8
アズマネザサ	I	1.32	73.3
イチヤクソウ	I	0.04	18.0
ウグイスカグラ	I	0.08	7.5
ウワミズザクラ	I	0.08	4.0
オオバジャノヒゲ	I	0.88	22.0
キツタ	Ⅲ	2.72	11.5
ケヤキ	I	0.04	10.0
コナラ	V	4.84	14.7
サイハイラン	Ⅱ	0.68	16.9
ジャノヒゲ	V	8.08	20.1
シラカシ	Ⅱ	1.36	29.8
チャノキ	I	0.56	27.0
テイカカズラ	I	0.52	9.5
マンリョウ	I	0.2	12.0
ヤブコウジ	I	0.32	18.0
ヤブラン	I	0.04	20.0
種数		17	

* 常在度は、I：20%未満、Ⅱ：20-40%、Ⅲ：40-60%、Ⅳ：60-80%、Ⅴ：80-100%を示す。

38 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 8. 上層木

種名	DBH (cm)	本数	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	4.4	2.6	26.8
アオハダ	12.7	0.4	27.1
イヌツゲ	1.3	0.2	0.3
ウワミズザクラ	7.6	0.6	28.2
エゴノキ	8.4	1.6	115.2
カキノキ	29.6	0.2	68.9
クヌギ	72.6	0.2	429.3
ケヤキ	2.2	0.2	0.8
コナラ	41.5	2.0	2354.0
シュロ	11.0	2.0	201.3
シラカシ	4.5	16.8	361.1
シロダモ	9.6	1.2	100.3
スギ	69.7	0.2	7.7
チャノキ	2.9	0.2	0.7
ネズミモチ	6.4	1.0	30.5
ヒサカキ	6.1	6.6	191.1
ヒノキ	10.3	1.0	220.1
フジ	4.7	3.2	76.3
ミズキ	19.1	0.2	57.3
ムクノキ	11.8	1.6	202.9
ムクノキ?	12.7	0.2	25.5
モチノキ	3.2	1.2	12.2
ヤマザクラ	62.4	0.2	327.4
種数		23	

表 9. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅲ	5.20	24.07
アズマネザサ	Ⅱ	2.00	26.83
オオバジャノヒゲ	Ⅰ	0.20	18.00
キツタ	Ⅰ	0.16	7.50
コナラ	Ⅰ	0.48	13.50
ジャノヒゲ	Ⅴ	16.76	19.26
シュロ	Ⅰ	0.24	15.67
シラカシ	Ⅰ	0.32	22.75
シロダモ	Ⅰ	0.24	40.00
チャノキ	Ⅰ	3.68	34.00
ツバキ	Ⅰ	0.20	20.00
テイカカズラ	Ⅰ	0.44	10.00
ヒサカキ	Ⅰ	0.08	25.00
フジ	Ⅰ	0.20	21.67
種数		14	

* 常在度は、Ⅰ：20%未満、Ⅱ：20-40%、Ⅲ：40-60%、Ⅳ：60-80%、Ⅴ：80-100%を示す。

39 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 10. 上層木

種名	DBH (cm)	本数	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	3.5	1.4	25.5
アオダモ	8.0	0.1	1.9
アオハダ	4.6	0.4	5.0
アラカシ	1.3	0.1	0.1
イヌツゲ	1.9	0.1	0.2
ウグイスカグラ	3.1	0.3	1.5
ウワミズザクラ	12.1	0.3	42.0
エゴノキ	11.9	0.1	19.0
カマツカ	2.8	0.5	3.1
クヌギ	47.8	0.1	124.8
クリ	22.3	0.1	27.2
ケヤキ	8.4	0.2	23.3
コナラ	30.6	4.5	2951.3
サンゴジュ	1.4	0.2	0.3
シデ	14.0	0.6	116.7
シュロ	12.7	0.6	74.0
シラカシ	6.9	10.1	504.0
シロダモ	3.4	0.3	3.7
スギ	12.1	0.1	19.2
タブノキ	2.3	0.2	1.0
チャノキ	1.2	0.3	0.3
ツルグミ	4.8	0.1	0.3
トウカエデ	3.6	0.2	2.3
トウネズミモチ	5.5	0.3	7.1
ニセアカシア	12.7	0.1	8.9
ネズミモチ	4.9	1.1	14.8
マユミ	2.7	0.1	0.5
マルバアオダモ	2.7	0.1	0.9
ミズキ	4.8	0.6	1023.9
ムクノキ	16.2	0.8	313.2
ムラサキシキブ	3.2	0.2	2.1
ヤマザクラ	16.8	0.8	293.5
リョウブ	6.0	0.3	6.4
種数		33	

表 11. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	II	0.40	18.60
アズマネザサ	II	1.65	21.57
アメリカフウロ	I	0.10	9.00
ウシハコベ	I	1.60	12.50
ウワミズザクラ	I	0.05	5.00
オオイヌノフグリ	I	0.10	13.00
オニタビラコ	I	0.25	45.00
カキドオシ	I	0.25	20.00
カタバミ	I	0.35	5.67
カナムグラ	I	0.15	12.00
カラスノエンドウ	I	0.25	20.00
ギシギシ	I	0.15	7.00
キツタ	II	3.65	8.00
キュウリグサ	I	0.60	9.50
キランソウ	I	0.35	4.67
コナスビ	I	0.05	2.00
コナラ	III	0.55	9.00
ゴヨウアケビ	I	0.10	12.00
サイハイラン	I	0.65	17.00
サクラ	I	0.05	6.00
サクラ.sp	I	0.05	3.00
シダ	I	0.10	13.00
ジャノヒゲ	IV	8.75	10.62
シュラン	I	0.05	15.00
シラカシ	I	0.05	15.00
スギナ	II	0.25	16.00
スズメノカタビラ	I	0.10	26.00
スマレ	I	0.55	9.50
タチイヌノフグリ	II	1.40	10.60
タネツキバナ	I	0.15	20.00
チヂミザサ	I	0.05	8.00
チャノキ	I	0.15	12.50
トウネズミモチ	I	0.05	6.00
ドクダミ	I	0.85	12.67
ナルコユリ	I	0.35	14.00
ネズミモチ	I	0.10	10.00
ノミノツヅリ	II	7.70	10.75
ハコベ	I	0.05	3.00
ハハコグサ	I	0.60	10.00
ハルジオン	I	0.55	27.00
ビナンカズラ	I	0.20	10.00
ヒメオドリコソウ	II	0.60	13.83
ヒメジョオン	I	0.05	6.00
ヘビイチゴ	I	0.10	3.50
ミズキ	I	0.05	25.00
ミズヒキ	I	0.10	4.00
ムラサキケマン	I	0.85	14.00
ヤエムグラ	I	0.10	12.50
ヤブガラシ	II	0.80	11.63
ヤブヅラミ	I	0.40	9.67
ヤブタビラコ	I	0.10	18.00
ヤブラン	I	0.35	11.50
種数		52	

* 常在度は、I : 20%未満、II : 20-40%、III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100%を示す。

40 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 12. 上層木

種名	DBH (cm)	本数	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	3.5	2.6	18.3
アオハダ	3.7	0.6	5.7
アカシデ	8.9	0.2	12.5
アカメガシワ	4.8	2.6	76.1
アラカシ	3.8	0.4	5.1
イヌザクラ	11.1	1.0	113.0
イヌツゲ	2.0	0.8	3.2
ウグイスカグラ	2.4	0.4	0.7
ウワミズザクラ	5.6	2.6	108.5
エゴノキ	10.2	0.2	16.3
クヌギ	23.2	0.8	428.8
ケヤキ	6.4	1.6	48.8
コナラ	25.4	2.4	1591.3
サカキ	2.9	0.8	6.1
サネカズラ	1.9	0.2	0.6
シデ	1.9	0.2	0.6
シロダモ	1.9	0.4	1.2
ツルグミ	1.8	0.4	1.2
ニワトコ	6.2	0.4	6.6
ネズミモチ	4.6	0.4	5.7
ヒサカキ	3.2	12.4	107.9
フジ	2.5	0.2	1.0
マルバアオダモ	1.7	0.6	1.4
ミズキ	24.5	0.2	94.4
ムクノキ	2.9	1.0	7.5
ムラサキシキブ	4.0	3.8	39.2
ヤツデ	3.5	0.6	4.3
ヤマウルシ	3.7	0.4	4.2
ヤマザクラ	7.9	0.8	55.2
リョウブ	3.5	0.8	8.3
種数		30	

表 13. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	Ⅲ	2.36	24.07
アズマネザサ	V	22.60	67.50
イタドリ	I	0.40	60.00
イヌシダ	I	0.04	5.00
イヌツゲ	I	0.12	22.50
イヌムギ	I	1.00	70.00
イノコズチ	I	0.36	23.33
ウグイスカグラ	I	0.84	25.00
エノキ	I	0.12	35.00
オオアレチノギク	I	0.08	20.00
キツタ	Ⅳ	6.32	8.83
ケヤキ	I	0.08	13.50
コナラ	I	0.04	15.00
サイハイラン	Ⅱ	0.80	21.83
ササバギラン	I	0.04	20.00
ジャノヒゲ	I	0.36	13.75
シラカシ	I	0.12	17.50
シロダモ	I	0.04	13.00
スイカズラ	I	3.80	43.00
センダン	I	0.04	20.00
チャノキ	I	0.36	16.75
ツタ	I	0.04	5.00
ツクサ	I	0.04	10.00
テイカカズラ	Ⅱ	1.32	8.71
ヒサカキ	I	1.52	43.00
フジ	I	0.08	17.50
ミズヒキ	I	2.80	50.00
ミツバアケビ	Ⅱ	1.20	24.83
ムラサキシキブ	I	0.04	4.00
ヤブガラシ	I	0.44	21.33
ヤブコウジ	I	0.04	13.00
ヤブジラミ	I	1.68	40.00
ヤブタビラコ	I	0.08	35.00
ヤブラン	I	0.08	25.00
種数		34	

*1m以上のアズマネザサに覆われてしまっているプロット4箇所あり

*常在度は、I：20%未満、II：20-40%、III：40-60%、IV：60-80%、V：80-100%を示す。

42 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 14. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオダモ?	0.9	2.9	4.5
イヌザクラ	0.3	79.3	716.3
イヌシデ	1.1	36.0	1248.5
イボタ	0.9	4.1	4.6
エゴノキ	0.9	9.0	29.7
エノキ	3.7	20.2	1433.1
カマツカ	4.0	9.8	95.4
クヌギ	0.6	24.8	347.9
ケヤキ	0.3	6.1	8.3
コナラ	0.3	44.6	448.3
ツバキ	0.3	10.5	12.7
ヌルデ	0.9	8.0	43.9
マユミ	1.4	5.2	30.9
マルバウツギ	0.3	1.3	0.4
ヤマコウバシ	0.6	4.5	4.1
ヤマザクラ	0.3	30.3	105.2
種数	16		

表 15. 下層植生

種名	常在度	被度 (%)	高さ(cm)
アキノノゲシ	I	0.40	1.40
アオイスミレ	I	2.00	2.00
アケビ	V	5.80	10.00
アズマネザサ	IV	8.00	19.60
イボタ	III	2.60	21.00
エノキ	IV	1.80	8.40
オオバジャノヒゲ	IV	22.00	17.00
オニドコロ	II	1.40	5.20
カマツカ	I	1.00	6.00
クサボケ	I	1.00	1.00
コゴメウツギ	III	3.00	14.00
コナラ	II	1.00	7.60
サルトリイバラ	I	1.00	3.00
ジャノヒゲ	I	0.60	1.00
スイカズラ	II	3.40	8.00
セリバヒエンソウ	I	2.00	4.00
チガヤ?	II	2.00	12.00
チデミザサ	II	1.40	2.80
チャノキ	I	0.40	5.00
ナガバジャノヒゲ	I	10.00	7.00
ヌルデ	II	4.00	14.00
ネズミムギ	I	3.00	14.00
ノイバラ	I	1.00	4.00
ノブドウ	I	0.40	3.00
ヒサカキ	I	0.40	2.00
マスクサ	II	1.40	20.00
マユミ	II	1.00	9.40
ミズヒキ	I	5.00	10.00
ヤブジラミ	I	4.00	13.00
ヤブラン	I	0.40	3.00
ヤマユリ	I	1.00	14.00
種数	31		

*常在度は、I：20%未満、II：20-40%、III：40-60%、IV：60-80%、V：80-100%を示す。

43 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 16. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	1.6	2.7	7.8
アオハダ	1.2	3.8	21.8
イタヤカエデ	0.4	3.2	3.2
イヌシデ	0.6	6.6	22.5
イヌツゲ	2.8	1.8	9.0
ウグイスカグラ	0.4	1.3	0.5
ウツギ	0.2	1.0	0.1
ウワミズザクラ	1.0	11.5	140.5
エゴノキ	3.2	9.1	152.1
カクレミノ	0.2	0.3	10.0
カマツカ	0.8	2.1	2.8
クヌギ	0.6	46.2	644.0
クリ	0.2	31.5	156.1
コゴメウツギ	0.2	1.0	0.1
コナラ	2.6	34.5	2521.8
コブシ	1.0	3.2	7.4
サワフタギ	0.2	3.8	2.3
シラカシ	7.0	4.6	158.5
スギ	4.6	3.6	46.7
チャノキ	1.0	1.0	0.7
ツリバナ	0.2	2.2	0.8
トウネズミモチ	0.8	5.1	9.3
ナンテン	0.2	1.0	0.1
ネズミモチ	1.0	2.5	4.5
ヒイラギ	0.2	1.0	0.1
フジ	0.2	7.3	8.4
ミズキ	0.8	6.4	42.4
ムクノキ	2.0	2.4	10.8
ムラサキシキブ	0.6	2.2	2.8
ヤツデ	0.2	3.2	1.6
ヤマザクラ	0.2	14.6	17.4
ヤマツツジ	0.6	2.0	2.2
種数	32		

表 17. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	I	3.84	28.75
アオハダ	I	0.04	145.00
アケビ	II	6.12	13.50
イヌツゲ	I	0.28	23.00
ウグイスカグラ	I	1.12	22.50
ウワミズザクラ	I	2.76	41.67
エゴノキ	I	0.04	10.00
エノキ	I	0.04	20.00
オオバジャノヒゲ	I	1.60	17.80
オトコヨウゾメ	I	0.16	15.00
オニドコロ	II	0.40	9.00
ガガイモ?	I	0.04	11.00
ガマズミ	I	0.44	37.50
キツタ	II	3.52	9.38
ギンラン	I	0.24	30.00
コゴメウツギ	I	1.00	40.00
コナラ	III	1.60	14.55
ササバギンラン	I	0.28	15.00
サルトリイバラ	I	0.08	20.00
サワラ	I	2.20	37.00
ジャノヒゲ	III	3.12	14.00
シラカシ	I	0.56	38.67
スイカズラ	I	1.08	35.00
チャノキ	III	4.88	33.14
ツゲ	I	0.04	14.00
ツタ	I	0.04	15.00
ツバキ	I	0.04	15.00
テイカカズラ	I	0.24	15.00
ナガバジャノヒゲ	I	0.04	14.00
ネズミモチ	I	0.04	23.00
ハルガヤ?	I	1.20	20.00
ヒイラギ	I	2.00	37.50
マユミ	I	0.20	15.00
マンリョウ	I	0.36	18.50
ムクノキ	I	0.24	17.50
ヤブラン	I	1.92	1.84
ヤマウルシ	I	0.52	3.25
ヤマコウバシ	I	0.80	50.00
ヤマツツジ	I	0.12	13.33
ヤマノイモ	I	0.04	11.00
ラン科不明	I	0.04	15.00
種数	41		

* 常在度は、I : 20%未満、II : 20-40%、
III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100%
を示す。

44 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 18. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	2.6	5.2	28.4
イヌシデ	0.3	2.5	1.3
ウワミズザクラ	0.8	42.1	1322.0
コナラ	0.5	35.0	522.1
サワラ	0.3	27.4	153.4
シラカシ	6.0	9.1	816.3
シロダモ	1.6	4.0	22.4
スギ	0.3	22.0	98.8
ヒサカキ	8.3	6.2	221.8
ヒノキ	1.0	32.9	904.5
フジ	5.0	5.3	119.2
ミズキ	0.3	26.8	146.4
ムクノキ	0.5	58.9	1536.5
種数	13		

表 19. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	IV	3.20	17.25
アズマネザサ	IV	1.60	37.43
イシミカワ	I	0.40	7.00
ウワミズザクラ	V	6.50	6.60
エノキ	I	0.10	7.00
オオバジャノヒゲ	II	0.40	16.67
コナラ	III	0.60	13.50
サンショ	I	0.10	4.00
ジャノヒゲ	V	11.90	15.90
シュロ	I	0.10	13.00
シラカシ	I	0.10	12.00
シロダモ	I	0.40	14.50
フジ	III	4.00	22.00
ミツバアケビ	II	1.60	11.25
ムクノキ	I	0.10	6.00
ヤブラン	I	0.30	23.00
種数	16		

* 常在度は、I : 20%未満、II : 20-40%、
III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100%
を示す。

46 号地の 100 m²あたりの上層木の本数、胸高断面積合計値(BA)、胸高直径(DBH)及び、1 m²あたりの下層植生(高さ<1.0m)の被度(%)と高さ(cm)を示す。

表 20. 上層木

種名	本数	DBH (cm)	BA (cm ² /100m ²)
アオキ	1.5	5.0	16.9
アオダモ	0.1	1.0	0.1
アカメガシワ	0.1	2.5	0.4
イヌザクラ	0.2	14.9	40.0
イヌツゲ	0.5	3.6	4.6
エゴノキ	0.5	13.6	72.3
エノキ	0.2	4.1	4.6
ガマズミ	0.1	1.0	0.1
クヌギ	0.5	35.9	476.9
クリ	0.1	32.5	63.6
ケヤキ	0.1	5.1	1.6
コナラ	3.1	45.3	4330.9
シャリンバイ?	0.1	2.2	0.3
シュロ	0.4	13.8	58.9
シラカシ	3.5	6.5	164.7
シロダモ	4.0	4.3	90.3
スイカズラ	0.1	2.5	0.4
センダン	0.1	16.9	17.2
チャノキ	0.1	1.0	0.1
ナツグミ	0.1	13.1	3.5
ネズミモチ	0.3	5.3	14.6
ヒイラギ	0.1	2.9	0.5
ヒサカキ	1.6	3.4	11.9
ヒノキ	0.2	41.0	310.7
マサキ	0.1	1.0	0.1
マユミ	0.1	9.9	1.2
ヤマザクラ	0.2	51.1	315.7
種数	27		

表 21. 下層植生

種名	常在度	被度(%)	高さ(cm)
アオキ	IV	4.87	18.80
アカシデ	I	0.27	16.00
アズマネザサ	V	14.00	60.00
オオバジャノヒゲ	II	1.67	13.00
カマツカ	I	0.13	10.00
コナラ	II	0.47	10.75
サンショウ	I	0.13	5.00
ジャノヒゲ	V	13.80	17.57
シュロ	I	1.40	29.33
シラカシ	I	0.33	18.33
シロダモ	III	1.60	24.57
スイカズラ	I	0.13	11.50
チャノキ	I	2.47	23.33
ツタ	V	6.13	9.92
ツルウメモドキ	I	0.27	12.50
テイカカズラ	I	0.33	15.00
ネズミモチ	I	0.13	26.00
ヒメマサキ?	I	1.00	50.00
ヒヨドリジョウゴ	I	0.13	5.00
マユミ	I	0.13	20.00
マンリョウ	I	0.13	1.00
ヤブガラシ	I	0.13	5.00
ヤブラン	I	1.00	20.00
種数	23		

* 常在度は、I : 20%未満、II : 20-40%、
III : 40-60%、IV : 60-80%、V : 80-100%
を示す。